



Musashi Univ.

被災地企業訪問から考える、

被災企業救済の新たなスキームの提案 ～災害に強い国づくりファンド～

安蔵 洋平

竹田 勝利

島 真人

市村 真也

武蔵大学経済学部金融学科 黒坂ゼミ



2011年4月12日 (火)

武蔵新聞 号外

「資本の喪失」 被害をもたらす



東日本大震災発生後、被災地では「資本の喪失」が被害をもたらしている。被災地では、工場や店舗などの建物や設備が壊滅的に被害を受けた。また、被災者の多くが、被災による被害で、生活資金や貯蓄資金を失った。このように、被災地では、資本の喪失が被害をもたらしている。このように、被災地では、資本の喪失が被害をもたらしている。

一重債務問題

復興支援

MKK ニュース

2011年4月5日 (金)

武蔵新聞 号外

東日本大震災

東北3県被害大!?



東日本大震災発生後、被災地では「資本の喪失」が被害をもたらしている。被災地では、工場や店舗などの建物や設備が壊滅的に被害を受けた。また、被災者の多くが、被災による被害で、生活資金や貯蓄資金を失った。このように、被災地では、資本の喪失が被害をもたらしている。このように、被災地では、資本の喪失が被害をもたらしている。

産業復興相談センター

原発稼働停止

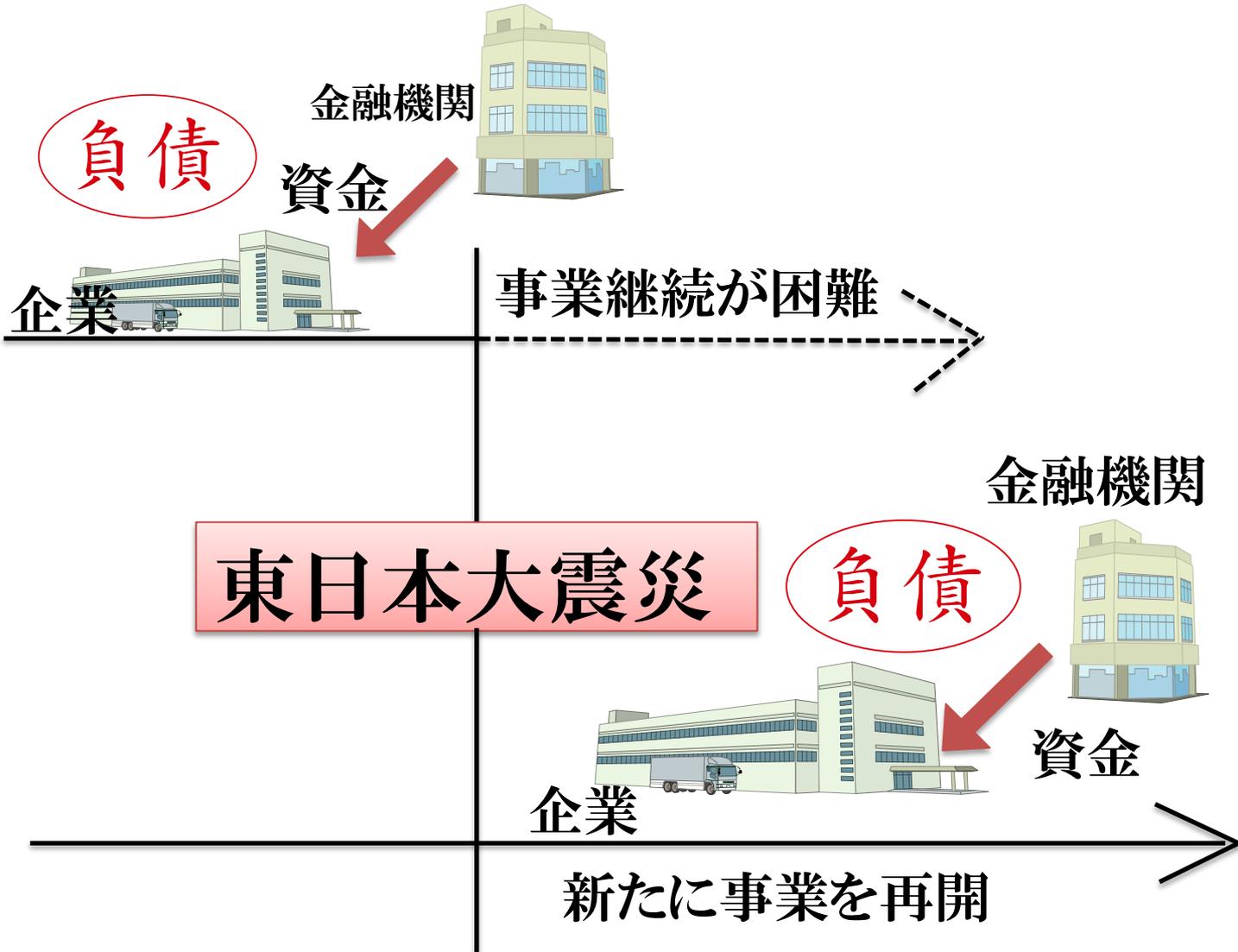
MKK ニュース

Our Presentation

被災地訪問を通して、現在の支援の枠組みに新たな機能を付与した産業復興相談センターの後継機関をつくることで解決に導く

Index - 目次 -

- 二重債務問題について
- 産業復興相談センターの取り組み
- インタビューをふまえて
- 災害に強い国づくりファンド



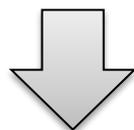
二重債務問題

震災が起こる前の負債と、新たに事業を再開するために発生する負債

二重債務問題に対する

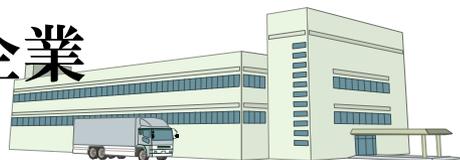
金融機関の視点

被災企業に対して、事業再開したとしても震災前の水準にまで経営状況が戻るのか不安定

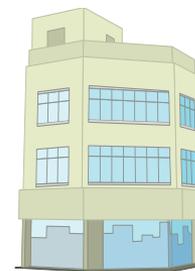
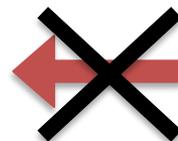


新たな融資実行が困難

企業



融資



金融機関

二重債務問題に対して
行政はどのような
対応をとっているのか



Musashi Univ.

産業復興相談センター

中小企業を主な対象とした被災企業の支援にあたっている

Musashi Univ. 産業復興相談センター

概要



2011年 設立

岩手、宮城、福島など被災した県に設置

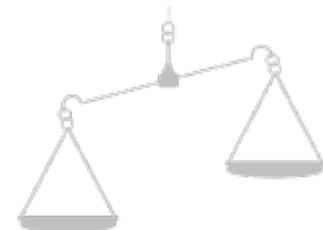
国

地方金融機関

公的資金

民間資金

= 8:2



企業



審査

①支援依頼

③事業計画書作成

②被災状況から

事業継続の可能性を判断

産業復興相談センター



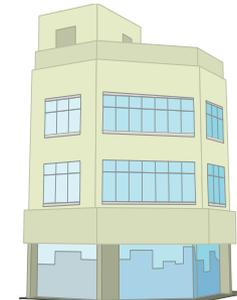
交渉

実施

④返済の猶予、
債権買取を交渉

⑤合意内容の施行

金融機関



Musashi Univ.

訪問調査



支援を受けている企業例

岩手県大船渡市 2社

岩手県陸前高田市 3社

宮城県名取市 1社



Interview 武蔵学生

A man in a dark suit, white shirt, and striped tie is seated at a dark wooden table in a bright office setting. He is looking down at a book or document on the table. On the table, there is also a small cup, a pen, and a notebook. The background features large windows with blinds and a potted plant.

本日はよろしく申し上げます。

Interview 企業

A man in a dark suit and tie is sitting at a dark desk in an office. He is smiling broadly and gesturing with his hands as if speaking. The desk has a notebook, a pen, and a small plant. In the background, there is a window with blinds and a bulletin board with various papers and a jar.

そんな緊張せず、
気軽に聞いてください。

Interview 武蔵学生

A man in a dark suit and tie is sitting at a desk in an office, facing right. He is holding a pen in his right hand and gesturing with his left hand. On the desk in front of him is a notebook, a pen, and a small cup. A potted plant is on the desk to his right. The background shows a window with blinds and a view of a building.

実際に支援を受けてみて
どうでしたか？

Interview 企業

A man in a dark suit and white shirt is sitting at a dark desk in an office. He is looking down and to the right with a thoughtful expression, his hand resting on his chin. The desk in front of him has a notebook, a pen, and a small cup. In the background, there is a large window with white blinds, a potted plant, and a bulletin board with various papers pinned to it.

そうですね。経営者として、
一個人として不安な日々でした。

Interview 企業

A man in a dark suit and striped tie is seated at a dark conference table, gesturing with his hands as he speaks. He is looking towards the left of the frame. On the table in front of him are a notebook, a pen, and a cup. The background shows a window with blinds and a shelf with various items.

センターの方々を命の恩人と思っておりますよ。

Interview 武蔵学生



センターの取り組みの中で今後、
改善点はありますか？

Interview 企業

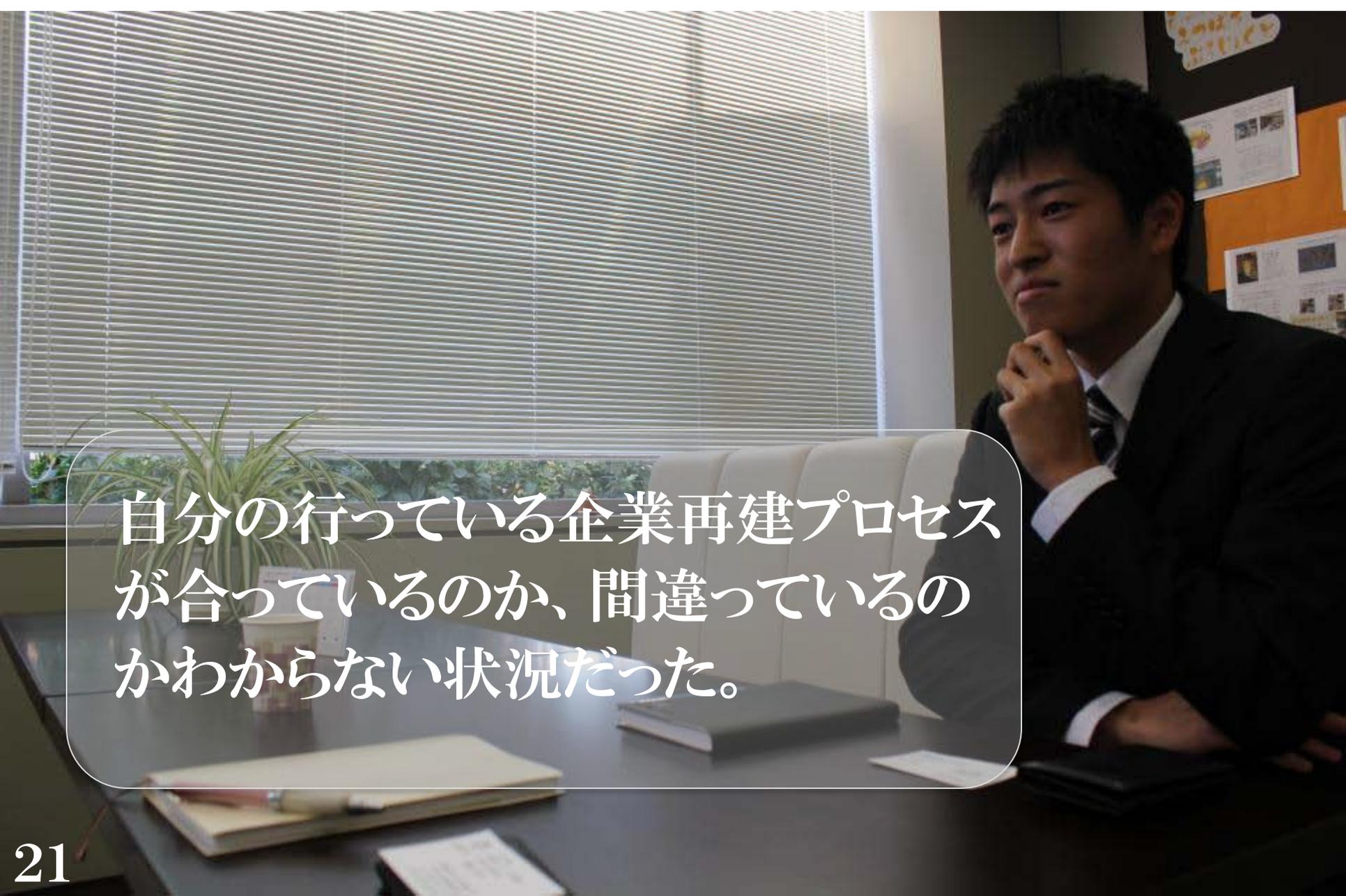
やはり災害後の地域間での情報共有をサポートしてくれる機能があれば良いと思いましたね。

Interview 武蔵学生



情報共有機能とは具体的には
どのようなことですか?

Interview 企業

A man in a dark suit and tie is sitting at a desk in an office. He is looking to the left with a thoughtful expression, his hand resting on his chin. The desk in front of him has a notebook, a pen, and some papers. In the background, there is a window with white blinds and a bulletin board with various papers pinned to it.

自分の行っている企業再建プロセス
が合っているのか、間違っているの
かわからない状況だった。

Interview 企業

A man in a dark suit and tie is sitting at a desk in an office, smiling and gesturing with his hands as if speaking. The office has a window with blinds in the background and a desk with a laptop and other items in the foreground.

自分たちで独自のネットワークを
つくって会社情報をすべてオープン
にすることで支援に向けての後押し
をしました。

Interview 武蔵学生



いわばアーカイブのように情報を蓄積していければ今後の災害にも活かせそうですね。

Interview 企業

なるほど。
それは良い考えだね。

Interview 武蔵学生



ではそれらの対策について
考察していきたいと思います。

Interview 企業

A man in a dark suit and tie is sitting at a dark desk in an office. He is looking out a window with white blinds. On the desk, there is a small potted plant, a cup, and some papers. The scene is lit with soft, natural light from the window.

ぜひ、頑張ってくれたまえ。
東北から応援しているよ。

インタビューをふまえた

問題点

- 大災害に対するセーフティネットの不在
- 公的・民間資金の配分割合

インタビューをふまえた

活かしていきたい点

- 二重債務問題解決に向けての横のつながり
- 企業再建プロセスを次世代に伝えていく

災害に強い国づくりファンド

富国強産ファンド

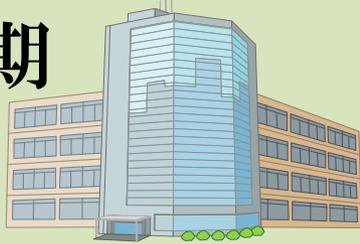


従来の制度では実現できなかった

—— 資本の喪失を伴う災害に
対する備えの手段 ——



設立時期



産業復興相談センターが役割を終えた後の後継機関

設立主体

民間の金融機関が中心となり
運営を担う



設立地



東京、札幌、盛岡、新潟
名古屋、大阪、広島、香川、福岡

資金

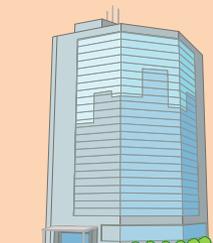
企業



保険金



富国強産ファンド



中小企業から徴収した保険金に基づく

災害に強い国づくりファンド
富国強産ファンド

2つの機能



+

保険機能
情報共有機能

産業復興相談
センターの機能

二重債務問題に対する

保険機能

モラルハザード

公的負担を前提として民間が災害に対しての備えを怠ることで起こる問題

二重債務問題に対する

保険機能

8 : 2

公的資金

民間資金

二重債務問題に対する

保険機能

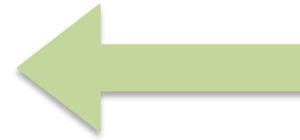
公的資金 と 民間資金 の
アンバランスを是正

南海トラフ沖地震



富国強産ファンド

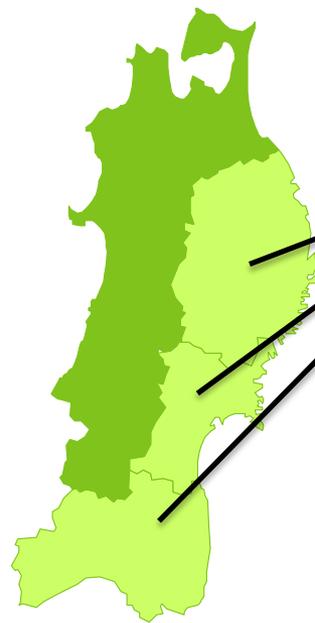
保険機能



二重債務問題に対する

保険機能

東日本大震災の1社当たりの債権の毀損額



被災中小企業は約19万社

$$\frac{1兆円}{19万社} = \text{毀損額} \quad \text{約}532\text{万円}$$

二重債務問題に対する

保険機能

南海トラフ沖地震について考える



被災企業予想が多い上位3県
愛知、大阪、静岡

$$\begin{aligned} & \text{約70万社} \times \overset{\text{毀損額}}{532\text{万円}} \\ & = \underline{\text{約4兆円}} \end{aligned}$$

二重債務問題に対する

保険機能

南海トラフ沖地震について考える

南海トラフ沖地震において

被災企業救済に必要な金額

二重債務問題に対する

保険機能

8:2 という配分割合を是正することが目的
約4兆円



公的資金 1:1 民間資金



民間負担が2兆円

二重債務問題に対する

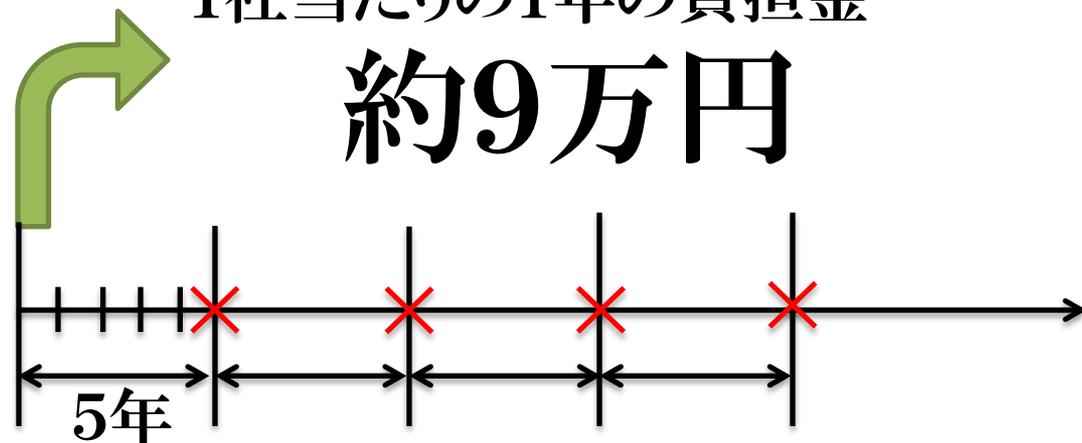
保険機能

全国の中小企業 1社あたりの負担額

420万件 × 約47万円 = 2兆円

1社当たりの1年の負担金

約9万円



二重債務問題に対する

保険機能

公的資金

1:1

民間資金

比較

公的資金

8:2

民間資金

1.2兆円削減

二重債務問題に対する

保険機能

資本喪失を伴う災害に対する

セーフティネットの構築

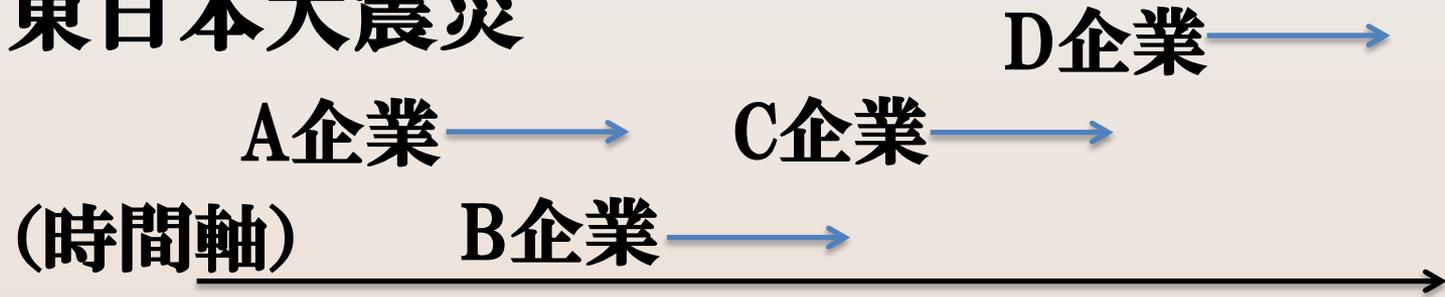
災害発生時の

公的資金の在り方を明確に定義

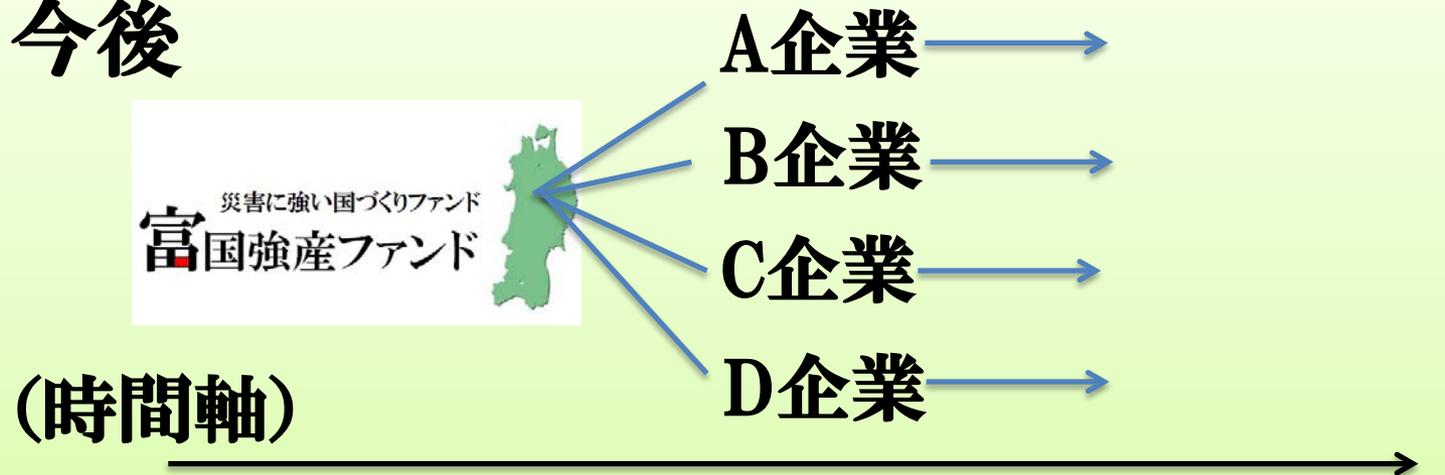
二重債務問題に対する

情報共有機能

東日本大震災



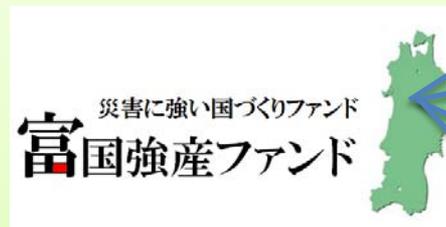
今後



東日本大震災

- 企業復興に対する情報量の格差を是正
- ファンドと企業が協力関係を築き
横のつながりを手助けする

今後



A企業 →

B企業 →

C企業 →

D企業 →

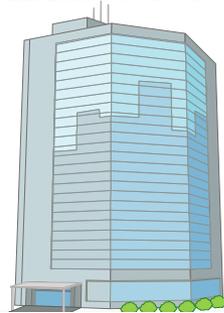
(時間軸)



情報共有機能

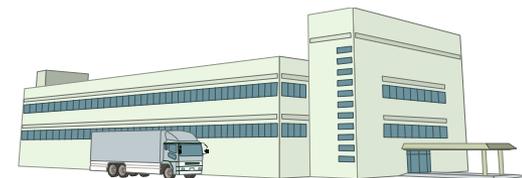
未来に災害が起きた場合

災害に強い国づくりファンド
富国強産ファンド



アーカイブ作成

会社情報



企業

二重債務問題に対する
横のつながりをファンドが手助けする。

今後災害が発生した際
アーカイブを管理することで
円滑に産業復興を実現していく

災害に強い国づくりファンド
富国強産ファンド

資本の喪失を伴う災害に対する
セーフティネットの構築

企業の災害に対する責任のあり方の定義

産業復興への迅速な対応

災害に強い国づくりファンド
富国強産ファンド





D.H. Lawrence

We are among the ruins,
we start to build up
new little habitats, to
have new little hopes.
There is now no
smooth road into the
future: but we go round,
or scramble over the
obstacles.
We've got to live, no
matter how many skies
have fallen.

今はガレキに埋もれているが、
小さくても新しい住まいを築き、
かすかでも新たな希望を持ち
始める時なのだ。将来へつなが
る平坦な道など一本もない。天
が落ちてくるような状況になん
どめぐり逢おうとも、生き抜かな
なければならないのだ。

ご静聴ありがとうございました